

この1年を振り返って

京都府中学校体育連盟
会長 杉本 清彦

令和7年度の「京都府中学校体育連盟報告書」を発行する運びとなりました。本年度も本連盟の諸事業に対し、皆様より多大なる御理解と御支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

本年度も各役員及び理事、各専門部の部長・専門委員長・専門委員の先生方には、競技運営をはじめ、安心・安全を第一とした大会運営に御尽力いただきました。熱中症特別警戒アラートの運用が定着する中、空調設備の整備、WBGT測定、経口補水液の準備、医師・看護師の配置など、子どもたちの命を守る体制強化に努めてまいりました。

令和7年度第74回近畿中学校総合体育大会は、滋賀県において開催されました。京都府代表として出場した各校・各選手は、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、競技を通して他府県との交流を深めました。広域開催にあたり御尽力いただきました滋賀県中学校体育連盟並びに関係の皆様へ、心より敬意と感謝を申し上げます。

また、8月下旬に行われた全国中学校体育大会では、団体において京都精華中学校女子バスケットボール部が3連覇を達成するなど、4種目6団体が入賞を果たしました。個人では、京都教育大学附属京都小中学校陸上競技部が男子110mHで優勝、宇治柔道会が男子60kg級で優勝など、5種目で17名が入賞いたしました。さらに、全国中学校駅伝大会では八幡市立男山第三中学校女子が3位入賞・男子が8位入賞と、男女揃っての出場・入賞を果たしました。個人でも6名が区間順位において入賞するなど、京都の中学生の力を全国に示してくれました。冬季大会（スキー・スケート）においても、スケート（フィギュア）女子の部で1名が入賞するなど、輝かしい成果を収めました。

そして、本年度の大きな事業の一つが、京都府中学校体育連盟分担金の改定に向けた取組です。少子化の進行により生徒数が減少する一方で、猛暑・災害級気象への対応、医療体制の充実、物価高騰などにより大会運営経費は増加しております。子どもたちの発表の場を将来にわたり持続可能なものとするため、分担金を一人あたり100円から120円へ改定する方針をお示しし、関係機関への丁寧な説明と理解促進に努めてまいりました。

本改定にあたり、京都府教育委員会、京都市教育委員会、各市町（広域連合）教育委員会の皆様には真摯に耳を傾けていただき、建設的な御助言を賜りました。また、校長会、私学連合会、国立・府立・私立学校長の皆様にも深い御理解をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。さらに、公益財団法人京都府スポーツ協会をはじめとする関係団体の御支援は、本連盟の活動の礎であります。

部活動の地域展開が進む中であっても、生徒の発表の場を守ることは私たちの責務であります。本連盟は、時代の変化を的確に見極め、持続可能な大会運営と安全確保の両立を図りながら、子どもたちの可能性を最大限に伸ばす環境づくりに努めてまいります。

結びに、本報告書の編集に御協力いただきました皆様、そして日頃より本連盟の活動を支えてくださるすべての皆様へ、改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

今後とも京都府中学校体育連盟への変わらぬ御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。令和7年度の総括とさせていただきます。